

※ 複数の資格を持ち重複計上している場合があるため、職種と資格の数は必ずしも一致しません。

2 理念・基本方針

保育を必要とする乳児及び幼児を日々受け入れ、適正な保育の提供を行うことにより、児童の健やかな成長、発達を図ることを目的とする。

3 施設・事業所の特徴的な取組

保育所保育指針に基づき、子どもの心身の状況に応じて、教育・保育その他便宜の提供を行うものとする。延長保育事業・一時預かり事業（自主事業）・学童保育（自主事業）

4 第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和 3年10月28日（契約日） ～ 令和 4年10月15日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	0 回（平成 年度）

5 評価結果総評

◆特に評価の高い点

平成31年3月から、公立のふかみ保育園の施設民間移譲を受けて運営されています。同年からのコロナ禍による感染予防に取組みながら園の活動に努めています。歴史ある建物を工夫しながら活用されています。

◆改善を求められる点

園の理念、基本方針に沿った園の状況にあった取組が期待されます。熊本県の中では、西の最南端でもあり高齢化や人口減に悩んでいる地域だと思いますが、地域のコミュニティの中では無くてはならない施設だと思われます。中長期の計画を是非作って頂いて地域の活性化を担われる事を期待します。

6 第三者評価結果に対する事業者のコメント（400字以内）

第三者評価を受審し、評価票を記入しながら職員一人一人が自己の保育並びに今置かれている保育園の方向性を認識するに至りました。

また、評価項目の質問事項を踏まえて長中期の園全体の事業計画が整備されていないことを痛感しました。今後の課題とします。

日々の保育活動及び園での取り組みについて、一つ一つの評価項目に対し確認を行うことで、気づきや課題など確認できたことは全職員にとって、とてもいい機会でありました。今回の評価結果を踏まえ、更なる保育の質及び保育サービスの向上に務めます。

7 第三者評価結果

別紙の「第三者評価結果」に記載している事項について公表する。

(参考) 利用者調査の手法等

調査の手法	対象者	対象数(人)	基準数に満たない場合の理由
アンケート調査	利用者本人	6	
	家族・保護者		
聞き取り調査	利用者本人		
	家族・保護者		
観察調査	利用者本人		

第三者評価結果

※すべての評価細目について、判断基準（a・b・cの3段階）に基づいた評価結果を表示する。

※評価細目毎に第三者評価機関の判定理由等のコメントを記述する。

<共通評価基準>

I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

		第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立・周知されている。		
1	I-1-(1)-① 理念、基本方針が明文化され周知が図られている。	Ⓐ・b・c
<コメント> 「ほいくのしおり」の「施設の目的及び運営方針」に理念を明記し、「保育の内容」に基本方針として3つの保育目標を明記しています。職員への周知は、入所時に保育園の概要説明の時に「ほいくのしおり」を用いて行い、新年度始まりの会議などで周知に努めています。保護者への周知は、保護者会総会時に「ほいくのしおり」を用いて説明しています。		

I-2 経営状況の把握

		第三者評価結果
I-2-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。		
2	I-2-(1)-① 事業経営をとりまく環境と経営状況が的確に把握・分析されている。	a・Ⓑ・c
<コメント> 社会福祉事業全体の動向と地域の各種福祉計画の策定動向と内容について、行政や天草市保育所連盟などの団体からのメールや研修などを通じて把握に努め、近年の出生者数の把握し現在から3年先の子ども数を把握して、経営状況の分析に努めています。		
3	I-2-(1)-② 経営課題を明確にし、具体的な取り組みを進めている。	a・Ⓑ・c
<コメント> 利用する子どもの人数が一番の課題と設定し、利用する子どもの数が一定数を下回ったら厳しいと考え、現在から3年先の子ども数の把握などを通じて、将来の施設のあり方を考慮しています。		

I-3 事業計画の策定

		第三者評価結果
I-3-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。		
4	I-3-(1)-① 中・長期的なビジョンを明確にした計画が策定されている。	a・b・Ⓒ
<コメント> 園長は将来の入所する子ども数の把握などを通じて、将来の施設のあり方を考慮した中・長期的なビジョンを持っていますが、明文化までは至っていません。第三者評価の規定では、明文化がない場合はc評価となります。		

5	I-3-(1)-② 中・長期計画を踏まえた単年度の計画が策定されている。	a・b・c
<p><コメント> 第三者評価の規定では、中・長期計画を踏まえた単年度の計画の策定の為、前項目がc評価の場合はこの項目もc評価となります。</p>		
I-3-(2) 事業計画が適切に策定されている。		
6	I-3-(2)-① 事業計画の策定と実施状況の把握や評価・見直しが組織的に行われ、職員が理解している。	a・b・c
<p><コメント> 年度末に職員が参画して来年度の事業計画を話し合って策定に努めています。今後は、より一層の完成した事業計画の職員の周知・理解を促すための取組が期待されます。</p>		
7	I-3-(2)-② 事業計画は、保護者等に周知され、理解を促している。	a・b・c
<p><コメント> 事業計画の主な内容である、保育、施設・設備を含む子どもと保護者に関わる内容については、年度当初の保護者総会で報告を行い、周知に努めています。</p>		

I-4 福祉サービスの質の向上への組織的・計画的な取組

		第三者評価結果
I-4-(1) 質の向上に向けた取組が組織的・計画的に行われている。		
8	I-4-(1)-① 保育の質の向上に向けた取組が組織的に行われ、機能している。	a・b・c
<p><コメント> 保育の質の向上に向けた取組として、随時職員会議で保育の在り方や事故報告などの話し合いを行っています。</p>		
9	I-4-(1)-② 評価結果にもとづき保育所として取組むべき課題を明確にし、計画的な改善策を実施している。	a・b・c
<p><コメント> 職員会議で明確になった課題について、職員の参画のもとで改善策などを検討し、改善に取組まれています。</p>		

II 組織の運営管理

II-1 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
II-1-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
10	II-1-(1)-① 施設長は、自らの役割と責任を職員に対して表明し理解を図っている。	a・b・c
<p><コメント> 「ふかみ保育園職務分担表」を策定しています。園長は自らの保育所の経営・管理に関する方針と取組など普段の業務や職員会議を通じて表明し理解に取組んでいます。</p>		
11	II-1-(1)-② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a・b・c
<p><コメント> 行政や天草市保育所連盟などの団体からのメールや研修などを通じて把握に努め、重要部分については掲示し、職員への周知に努めています。</p>		

Ⅱ-1-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
12	Ⅱ-1-(2)-① 保育の質の向上に意欲をもち、その取組に指導力を発揮している。	㉠・b・c
<コメント> 日々の保育や職員会議での指導力を発揮し、職員の自己評価より、保育士の意見なども適宜聞き入れて共有しています。保育の質の向上に向けて、押しつけでなく保育士たちの話も聞きつつ導いています。今の園の状況で保育しやすいように取組んでいる姿勢を感じます。		
13	Ⅱ-1-(2)-② 経営の改善や業務の実効性を高める取組に指導力を発揮している。	a・㉡・c
<コメント> 経営の改善や業務の実効性を高めるために設備投資などに取組んでいます。		

Ⅱ-2 福祉人材の確保・育成

		第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 福祉人材の確保・育成計画、人事管理の体制が整備されている。		
14	Ⅱ-2-(1)-① 必要な福祉人材の確保・定着等に関する具体的な計画が確立し、取組が実施されている。	a・㉢・c
<コメント> 必要な福祉人材を確保するために取組んでいます。今後はより一層の効果的な福祉人事の確保の実施が期待されます。		
15	Ⅱ-2-(1)-② 総合的な人事管理が行われている。	a・㉢・c
<コメント> 人事基準は、就業規則に明記し、入所時に説明に努めています。今後は保育所の理念・基本方針にもとづき「期待する職員像」の明文化などが期待されます。		
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。		
16	Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し、働きやすい職場づくりに取組んでいる。	㉠・b・c
<コメント> 職員の自己評価より、職員の意向を把握し、ワーク・ライフ・バランスに配慮するように努めていることが感じられます。		
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。		
17	Ⅱ-2-(3)-① 職員一人ひとりの育成に向けた取組を行っている。	a・b・㉣
<コメント> 職員一人ひとりの育成に向けた取組として、「期待する職員像」を明確にし、職員一人の目標管理のための仕組み作りが期待されます。		
18	Ⅱ-2-(3)-② 職員の教育・研修に関する基本方針や計画が策定され、教育・研修が実施されている。	a・㉢・c
<コメント> 保育士のキャリアアップ研修に参加できるように努めています。現在実施している保育の内容や目標を踏まえて、教育・研修計画の策定とそれに基づいた教育・研修の実施をするための仕組み作りが期待されます。		
19	Ⅱ-2-(3)-③ 職員一人ひとりの教育・研修の機会が確保されている。	a・㉢・c
<コメント> 外部研修に関する情報提供を行い、職員が希望すれば参加できるように努めています。		

Ⅱ-2-(4) 実習生等の福祉サービスに関わる専門職の研修・育成が適切に行われている。		
20	Ⅱ-2-(4)-① 実習生等の保育に関わる専門職の教育・育成について体制を整備し、積極的な取組をしている。	a・b・㉔
<コメント> 実習生を受け入れる為の体制の整備として、実習生などの保育に関わる専門職の研修・育成に関する基本姿勢を明文化し、マニュアルの整備が期待されます。		

Ⅱ-3 運営の透明性の確保

		第三者評価結果
Ⅱ-3-(1) 運営の透明性を確保するための取組が行われている。		
21	Ⅱ-3-(1)-① 運営の透明性を確保するための情報公開が行われている。	a・㉕・c
<コメント> 法人として現況報告書を公開しています。今後は、ホームページ等の活用により、保育園の理念や基本方針、保育の内容など保育所の事業や財務などに関する情報について、より一層公開するための仕組み作りが期待されます。		
22	Ⅱ-3-(1)-② 公正かつ透明性の高い適正な経営・運営のための取組が行われている。	a・㉕・c
<コメント> 経理規定に基づいて、適切な経営・運営に取り組んでいます。今後は、保育園における事務、経理、取引などについて、定期的にダブルチェックなどの内部統制に基づいて確認するための仕組み作りや、必要に応じて外部の専門家に相談し、助言を得るための仕組み作りなどが期待されます。		

Ⅱ-4 地域との交流、地域貢献

		第三者評価結果
Ⅱ-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。		
23	Ⅱ-4-(1)-① 子どもと地域との交流を広げるための取組を行っている。	㉖・b・c
<コメント> コロナ禍前までは、町民体育祭、村祭り、地域の施設の訪問や、敬老会、ひな祭り、勤労感謝の日に職場にお花を届けたり、七夕の笹飾りを届けるなどの取組を行っていました。		
24	Ⅱ-4-(1)-② ボランティア等の受入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a・㉕・c
<コメント> コロナ禍前までは、地域の高校生や中学生のボランティア活動を受け入れ、読み聞かせボランティアの受け入れを行っていました。 今後は、ボランティア受け入れについて、登録手続き、ボランティアの配置、事前説明などに関する項目が記載されたマニュアルの整備などが期待されます。		
Ⅱ-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。		
25	Ⅱ-4-(2)-① 保育所として必要な社会資源を明確にし、関係機関等との連携が適切に行われている。	a・㉕・c
<コメント> 天草市保育連盟、深海地区振興会などと定期的な連絡会などを行っています。社会資源の活用として、深海地区コミュニティセンターで開催されたふかみ保育園の運動会に、牛深ハイヤ祭のマスコットキャラクター”あかねちゃん”が登場して園児たちと交流するなどの取組を行っています。		

Ⅱ-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。		
26	Ⅱ-4-(3)-① 地域の福祉ニーズ等を把握するための取組が行われている。	a・㉞・c
<コメント> 天草市保育連盟、深海地区振興会などと定期的な連絡会などを行い、地域の活性化やまちづくりに努めています。		
27	Ⅱ-4-(3)-② 地域の福祉ニーズ等にもとづく公益的な事業・活動が行われている。	a・㉞・c
<コメント> コロナ禍前までは、町民体育祭、村祭り、地域の施設の訪問や、敬老会、ひな祭り、勤労感謝の日に職場にお花を届けたり、七夕の笹飾りを届けるなどの取組を行い、地域の高中生や中学生のボランティア活動や読み聞かせボランティアの受け入れ、ボランティア活動の日の地域のごみ拾い等を行っていました。		

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

		第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。		
28	Ⅲ-1-(1)-① 子どもを尊重した保育について共通の理解をもつための取組を行っている。	a・㉞・c
<コメント> 保育目標に、「1. つよい子になるために。健康に必要な良い生活習慣を身につける。危険な遊び場や交通安全のきまりがわかる。物事をやり通すたくましさや頑張りを持つ。2. 明るい子どもになるために。遊びが楽しくのびのびとできる。思いやりがあり親切で優しい心情豊かな心を持つ。3. 考える子どもになるために。自分のことは、自分でできるようにする。よく見て良く考えることができる。遊びや表現をよく工夫する。」と明記し、子どもを尊重した保育の実施について職員が理解し実践するために、普段の業務で気づいたことを主任から話をし、職員会議で話し合っています。		
29	Ⅲ-1-(1)-② 子どものプライバシー保護に配慮した保育が行われている。	a・b・㉟
<コメント> 子どものプライバシーの保護について、トイレ・着替え・シャワー時等生活場面におけるプライバシーの保護について、保育の質の向上のために、設備面での配慮や工夫を含めた保育所としての取組や、規程・マニュアルなどが整備され、より一層の職員への周知の為の仕組み作りが期待されます。		
Ⅲ-1-(2) 福祉サービスの提供に関する説明と同意（自己決定）が適切に行われている。		
30	Ⅲ-1-(2)-① 利用希望者に対して保育所選択に必要な情報を積極的に提供している。	a・㉞・c
<コメント> 「ほいくのしおり」に理念や基本方針、保育の内容などを明記しています。保育園の利用希望者については、見学時に個別に丁寧な説明に努めています。		
31	Ⅲ-1-(2)-② 保育の開始・変更にあたり保護者等にわかりやすく説明している。	a・㉞・c
<コメント> 保育の開始にあたり「ほいくのしおり」に基づいて、新年度の始まりの説明会などを通じて説明に努めています。保育の変更にあたり、文章で連絡し、送迎時に口頭で伝えて説明に努めています。保育の開始・変更時には、保護者等の同意を得たうえでその内容を書面で残すことが期待されます。		

32	Ⅲ-1-(2)-③ 保育所等の変更にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	a・b・㉔
<p><コメント></p> <p>これまで保育園の変更に該当する利用者はいないとのことでした。保育の継続性に配慮した手順と引継ぎ文書の策定、保育園の利用が終了した後も、園として子どもや保護者が相談できるように担当者や窓口を設置することなど、仕組み作りが期待されます。</p>		
Ⅲ-1-(3) 利用者満足の上昇に努めている。		
33	Ⅲ-1-(3)-① 利用者満足の上昇を目的とする仕組みを整備し、取組を行っている。	a・㉕・c
<p><コメント></p> <p>保護者総会を定期的に行い、日々の保育や連絡帳、送迎時などを通じて、子どもの満足度を把握するように努めています。職員会議で全ての子どもについて個別に普段の様子や給食について、その月の行事の反省などを話し合っています。</p>		
Ⅲ-1-(4) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。		
34	Ⅲ-1-(4)-① 苦情解決の仕組みが確立しており、周知・機能している。	a・㉕・c
<p><コメント></p> <p>苦情解決の体制は整備されています。苦情相談内容を職員が情報を共有し、参画して保育の質の上昇に関わる仕組み作りが期待されます。</p>		
35	Ⅲ-1-(4)-② 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備し、保護者等に周知している。	a・㉕・c
<p><コメント></p> <p>保護者との話し合いの機会を持つなどの日常的な取組を行っています。今後は、意見箱の設置、アンケートの実施、第三者委員による聞き取りなど、相談や意見をより一層述べやすくするための環境の整備が期待されます。</p>		
36	Ⅲ-1-(4)-③ 保護者からの相談や意見に対して、組織的かつ迅速に対応している。	a・㉕・c
<p><コメント></p> <p>「意見・要望・苦情・不満を解消するための仕組みに関して」という対応マニュアルを策定しています。今後は、対応マニュアルの定期的な見直しと、意見箱の設置、アンケートの実施など、保護者の意見を積極的に把握する取組が期待されます。</p>		
Ⅲ-1-(5) 安心・安全な福祉サービスの提供のための組織的な取組が行われている。		
37	Ⅲ-1-(5)-① 安心・安全な福祉サービスの提供を目的とするリスクマネジメント体制が構築されている。	a・b・㉔
<p><コメント></p> <p>事故発生時の対応と安全確保について責任、手順（マニュアル）などを明確にし、職員により一層の周知の為の仕組み作りや、ヒヤリハット・事故報告等の事例の収集を積極的に実施し、その収集した事例について要因分析の実施や改善策・再発防止策を検討・実施するためのリスクマネジメントに関する組織作りが期待されます。</p>		
38	Ⅲ-1-(5)-② 感染症の予防や発生時における子どもの安全確保のための体制を整備し、取組を行っている。	a・㉕・c
<p><コメント></p> <p>「保育現場の為の新型コロナウイルス感染症対策ガイドブックダイジェスト版」に基づいて感染症の予防と発生時などの対応に努めています。</p>		
39	Ⅲ-1-(5)-③ 災害時における子どもの安全確保のための取組を組織的に行っている。	a・㉕・c
<p><コメント></p> <p>毎月避難訓練を実施しています。立地条件などから災害の影響を把握し、「ふかみ保育園消防計画書」「土砂災害に関する避難確保計画」を策定しています。食料や備品などを備蓄し整備しています。今後は、事業継続計画（BCP）の策定が期待されます。</p>		

Ⅲ-2 福祉サービスの質の確保

		第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 提供する福祉サービスの標準的な実施方法が確立している。		
40	Ⅲ-2-(1)-① 保育について標準的な実施方法が文書化され保育が提供されている。	a・ ⑥ ・c
<p><コメント></p> <p>7時30分の登園から18時の保育終了まで、0、1、2歳児と4、5、6歳児のデイリープログラムを策定し、保育士の援助及び配慮を明記しています。</p>		
41	Ⅲ-2-(1)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a・b・ ⑦
<p><コメント></p> <p>園に必要な標準的な実施方法の策定に関する検証や、策定した後の見直しが定期的実施されるための仕組み作りが期待されます。</p>		
Ⅲ-2-(2) 適切なアセスメントにより福祉サービス実施計画が策定されている。		
42	Ⅲ-2-(2)-① アセスメントにもとづく指導計画を適切に作成している。	⑧ ・b・c
<p><コメント></p> <p>年齢に応じた「入園時調査表」に基づいてアセスメントを実施し、「食事について。言葉について。生活について。くせについて。健康について。性格について」など把握しています。更に、お父さん、お母さん、おばあさん、おじいさんの各々が、「我が家の子どもがどのような子どもに育て欲しい」と思うのか、「保育園では特にどのようなところを伸ばして欲しい」と思うのか、のニーズの把握を行っています。指導計画の作成は、クラス担任が必要に応じて保護者や職員間で気になることを話し合い作成し、園長・主任に相談し策定しています。</p>		
43	Ⅲ-2-(2)-② 定期的に指導計画の評価・見直しを行っている。	a・ ⑨ ・c
<p><コメント></p> <p>指導計画の見直しについて実施状況の評価を行い、必要に応じて見直しに努めています。指導計画の見直しについて、見直しを行う時期、保護者の移行把握と同意を得るための手順等、組織的な仕組みを定めて実施することが期待されます。</p>		
Ⅲ-2-(3) 福祉サービス実施の記録が適切に行われている。		
44	Ⅲ-2-(3)-① 子どもに関する保育の実施状況の記録が適切に行われ、職員間で共有化している。	a・ ⑩ ・c
<p><コメント></p> <p>情報共有を目的として、その日の気になることは黒板に記載し周知に努め、定期的に職員会議を開催し、一人ひとりの成長の様子を伝えるなど努めています。今後は、記録する職員で記録内容や書き方に差異が生じないように、記録容量の作成や職員への指導などの工夫が期待されます。</p>		
45	Ⅲ-2-(3)-② 子どもに関する記録の管理体制が確立している。	a・ ⑪ ・c
<p><コメント></p> <p>「特定個人情報等取扱規定」を策定し、それに基づいて子どもに関する記録の管理体制に努めています。今後は、記録の管理について個人情報保護の観点から、職員に対し教育や研修が行われることが期待されます。</p>		

〈内容評価基準〉

A-1 保育内容

		第三者評価結果
A-1-(1) 全体的な計画の作成		
A①	A-1-(1)-① 保育所の理念、保育の方針や目標に基づき、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に応じて全体的な計画を作成している。	a・ ⓑ ・c
<p>〈コメント〉</p> <p>全体的な計画は年に1回見直し、園長と主任でベースを作成した後、職員に見せて、意見を確認して策定しています。</p>		
A-1-(2) 環境を通して行う保育、養護と教育の一体的展開		
A②	A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。	a・ ⓑ ・c
<p>〈コメント〉</p> <p>昔ながらの木造の建物の特徴を活かし子どもが落ち着く環境を整えるようにしています。室内の温度、換気、採光、音などの環境は適切な状態を保持するように努めています。コロナ禍の為に、玄関に非接触式の体温計、非接触で開封するゴミ箱などの設備を整えています。</p>		
A③	A-1-(2)-② 一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行っている。	a・ ⓑ ・c
<p>〈コメント〉</p> <p>子どもが安心して自分の気持ちを表現できるように配慮し、一人ひとりの子どもを受容し、子どもの状態に応じた保育を行おうと努めています。職員アンケートなどから、より一層の子ども状態に応じた保育を行いたい、との記述を感じました。今後は、より一層の一人ひとりの子どもの理解を深め受容するための仕組み作りが期待されます。</p>		
A④	A-1-(2)-③ 子どもが基本的な生活習慣を身につけることができる環境の整備、援助を行っている。	a・ ⓑ ・c
<p>〈コメント〉</p> <p>生活習慣を身につけるために、見守りながら子どもが自分でできるように「自分でやってみよう」「できた」という思いを持つように努めています。保護者との情報交換を行い、家での状況を確認し、園での取り組みの様子を伝え、保護者と協力して、子どもが基本的な生活習慣を身につけることができるように取り組んでいます。</p>		
A⑤	A-1-(2)-④ 子どもが主体的に活動できる環境を整備し、子どもの生活と遊びを豊かにする保育を展開している。	a・ ⓑ ・c
<p>〈コメント〉</p> <p>3歳以上は1日1回進んで体を動かすことができるよう戸外で遊ぶ時間を確保しています。社会的ルールや態度を身につけていくように、道路の右側通行や横断歩道の渡り方を学ぶように取り組んでいます。様々な表現活動が体験できるようにダンスや歌、踊りなどに取り組んでいます。</p>		
A⑥	A-1-(2)-⑤ 乳児保育(0歳児)において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・ ⓑ ・c
<p>〈コメント〉</p> <p>「年間指導計画(0・1・2歳児)」に、「健康に配慮した安全な環境のなかで、一人ひとりの甘えや欲求を十分に満たすなど情緒の安定を図ることで、安心して自分の気持ちを表現する。一人ひとりの発達に応じた保育士の適切な関りのなかで、簡単な身の回りのことに興味を持ち自分でしようとする。保育士や友達と関りながら遊ぶ楽しさを感じたり親しみを持つ。身近な環境に興味、関心をもち、見たり、触ったりしながら発見を楽しんだり、色々試したりする。」と明記し、取り組んでいます。建物が古く歴史があり、昔ながらの構造となっているため、現在では不便なところもありますが、職員は危険なものがないように安全面に</p>		

注意しています。		
A⑦	A-1-(2)-⑥ 3歳未満児（1・2歳児）の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>「年間指導計画（0・1・2歳児）」に基づいて取り組んでいます。0・1・2歳児が同じ教室ということや、建物が古く歴史があり昔ながらの構造で不便もありますが、職員は危険がないように安全面に注意しています。</p>		
A⑧	A-1-(2)-⑦ 3歳以上児の保育において、養護と教育が一体的に展開されるよう適切な環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>「年間指導計画（3・4・5歳児）」に、「保健的で安全な環境の中で、一人ひとりの気持ちや考えを受容情緒の安定を図りながら快適に生活できるようにする。友達や異年齢の子ども友達、地域の方とのかかわりを楽しみ、やさしさや思いやり感謝の気持ちを持つ。健康や安全に必要な基本的な生活習慣や態度を身につけ、その大切さを理解して行動する。身近な社会や自然環境に自らかかわり、豊かな心情や感性を養う。さまざまな体験を通して豊かな感性や想像力を育み自由に表現することを楽しむ。友達とひとつの目標に向かって力を合わせて取り組み最後までやりとげ達成感や満足感を味わう。自分の思いや意見を言葉で表現するとともに、相手の思いを受け止め互いに認め合う。」と明記し、取り組んでいます。</p>		
A⑨	A-1-(2)-⑧ 障がいのある子どもが安心して生活できる環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>障害のある子どもや気になる子どもがいる場合は、保健師に相談し対応するように努めています。</p>		
A⑩	A-1-(2)-⑨ それぞれの子どもの在園時間を考慮した環境を整備し、保育の内容や方法に配慮している。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>子どもの状況に応じて、活動と休息のメリハリをつけ、穏やかに過ごせるように努めています。子どもの状況について、黒板に書いたり、園長へ電話したりして、保育士間の引継ぎを適切に行うように努めています。</p>		
A⑪	A-1-(2)-⑩ 小学校との連携、就学を見通した計画に基づく、保育の内容や方法、保護者との関わりに配慮している。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>地域の保育園と小学校の連携のネットワークに参加し、小学校での生活の為に、だんだんと子どものお昼寝をしないようにし、簡単な文字や自分の名前を書けるように取り組んでいます。</p>		
A-1-(3) 健康管理		
A⑫	A-1-(3)-① 子どもの健康管理を適切に行っている。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>登園時に検温・視診を行い、保護者からの連絡帳などで、家庭での様子を把握し、気づいたことがあったら職員間で話し合い、子どもの健康管理を適切に行うために取り組んでいます。今後は、園の子ども健康管理に関するマニュアルを策定し、それに基づいて一人ひとりの子どもの心身の健康状態を把握するための仕組み作りが期待されます。</p>		
A⑬	A-1-(3)-② 健康診断・歯科健診の結果を保育に反映している。	a・ b ・c
<p><コメント></p> <p>健康診断を年に2回、歯科検診を年に1回行い、家庭での生活に生かされるよう、健康診断・歯科検診の結果を保護者に伝えています。</p>		

A⑭	A-1-(3)-③ アレルギー疾患、慢性疾患等のある子どもについて、医師からの指示を受け、適切な対応を行っている。	a・ ⑬ ・c
<p><コメント></p> <p>入園時に「食物アレルギーに関する調査票」「身体発育記録」を提出してもらい、アレルギーや既往歴を把握しています。給食のアレルギー対策として、アレルギーの程度に応じて、調理器具を別にしたり、食器を分けたり、ラップをして混入を防ぐなどの対策を行っています。</p>		
A-1-(4) 食事		
A⑮	A-1-(4)-① 食事を楽しむことができるよう工夫をしている。	a・ ⑬ ・c
<p><コメント></p> <p>全園児がランチルームに集まり、食事前後に一斉に挨拶をするなど、明るい環境で食べています。しかし、現在、コロナ禍の為、黙食に取組み、どうしてもコロナ前より楽しさが半減しています。</p>		
A⑯	A-1-(4)-② 子どもがおいしく安心して食べることのできる食事を提供している。	⑭ ・b・c
<p><コメント></p> <p>子ども達の食べる量や好き嫌いなど食事の様子を職員間で共有しています。食べたいもの、食べられるものが少しでも多くなるように、メニューの種類を多くし、いろんな食材を味わうことができるように取組んでいます。畑から採れたじゃがいもを使い、魚を鮮魚店から購入して提供しています。子どもの発達に合わせ、食べる様子を見ながら無理なく食べられるように食材をカットしたりするなど工夫して提供しています。</p>		

A-2 子育て支援

		第三者評価結果
A-2-(1) 家庭との緊密な連携		
A⑰	A-2-(1)-① 子どもの生活を充実させるために、家庭との連携を行っている。	a・ ⑬ ・c
<p><コメント></p> <p>家庭との日常的な情報交換は登園時に家庭での様子を確認し、降園時に園での様子を伝え、連絡帳を活用しています。園からの連絡事項を、あえて子どもに伝えることで、子どもから親へ話すことによる親子の連携を強めるように取組んでいます。</p>		
A-2-(2) 保護者等の支援		
A⑱	A-2-(2)-① 保護者が安心して子育てができるよう支援を行っている。	a・ ⑬ ・c
<p><コメント></p> <p>日々のコミュニケーションにより、保護者との信頼関係を築くように努めています。保護者が困ったこと、心配事などは解決に繋がるように相談に応じるように努めています。</p>		
A⑲	A-2-(2)-② 家庭での虐待等権利侵害の疑いのある子どもの早期発見・早期対応及び虐待の予防に努めている。	a・ ⑬ ・c
<p><コメント></p> <p>登園時の様子、着替えの時に視診や食事の様子など園での様子を観察することで、早期発見に努めています。今後は、虐待など権利侵害を発見した場合の対応についてマニュアルを整備し、マニュアルに基く職員研修の実施を期待されます。</p>		

A-3 保育の質の向上

		第三者評価結果
A-3-(1) 保育実践の振り返り（保育士等の自己評価）		
A20	A-3-(1)-① 保育士等が主体的に保育実践の振り返り（自己評価）を行い、保育実践の改善や専門性の向上に努めている。	a・b・C
<p><コメント> 保育士などが保育の計画（保育家庭と指導計画）や保育の記録を通して、自らの保育実践の振りかえり（自己評価）を「自らの保育を捉える視点」で行い、保育実践の改善や専門性の向上を行い、それを通じて保育所全体の自己評価に繋げるための仕組み作りが期待されます。</p>		

(参考)

	第三者評価結果		
	a	b	c
共通評価基準（評価対象Ⅰ～Ⅲ）	5	32	8
内容評価基準（評価対象A）	1	18	1
合 計	6	50	9